様式3

学校番号 41

令和　8　年度　学校評価書　（ 計画段階 ）

福岡県立　博多青松　高等学校　通信制

スクール・ミッション （本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像）	**生徒一人一人の個性を尊重し、目標達成のための力を育成することのできる、県立唯一の通信制高校** ～自らの力で課題を解決する通信制ならではの教育活動を通して、学校内外の様々な学びにつながる継続力とチャレンジ精神を有する人材を育成します～	
スクール・ポリシー （三つの方針）	グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に 関する方針）	○創学の精神のもと、自律した生活習慣を身に付け、他者を尊重し、自分の目標に向かって努力することができるために必要な資質・能力 ○私生活と学校生活の両立を目指し、自己管理ができ、主体的に物事に取り組むことができるために必要な資質・能力
	カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に 関する方針）	○自ら履修科目を設定し、卒業までの計画を編成できる教育課程 ○在籍期間の上限を設けず、単位を積み重ねることで卒業を目指せる柔軟な単位制 ○検定等の学校外の学修成果を単位として認定 ○丁寧な添削指導、深い学びを実践する面接指導、生徒の実態に合った学習評価の実施
	アドミッション・ポリシー （入学者の受け入れに 関する方針）	○年齢を問わず、学ぶ意欲がある人 ○様々な学習を通して、自分の将来を考えたい人 ○他者を思いやり、多様性を尊重できる人 ○自分の生活スタイルを大事にしたい人 ○自分で考え行動したい人 ○社会のルール・マナーが守れる人

学校運営計画（4月）

学校運営方針			評価（総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
昨年度は、学習評価の在り方について議論を重ね、出席の取扱の厳格化とあわせて観点別の学習状況の評価の徹底について共通理解を図ることを決定した。今年度は、引き続き各教科・科目の目指す生徒の資質・能力の育成を推進する。また、生徒の抱える多様かつ複雑な課題に対応するためにＳＣやＳＳＷ等の相談体制や合理的配慮体制を充実させ、適切かつ実効性のある支援を進めてきた。しかし、一方では転退学者数が増加の一途をたどっており、入学者が募集定員を満たさない状況も起こった。職員間の情報交換や研修、外部機関との連携に取り組みながら個別最適な修学指導を展開する。	学習活動及びキャリア教育を充実させ、生徒の個別最適な学びを実現する。	（１）生徒の多様な学びに対応できるような教職員の学習指導体制の充実を図る。 （２）ＩＣＴを活用する等、魅力ある授業を展開し、生徒の学力の更なる伸長を図る。 （３）キャリア教育の体制整備を図り、生徒が未来社会でたくましく生き抜く力を育成する。	
	生徒の多様化に対応した、積極的生徒指導と修学支援を充実させる。	（１）学校生活を通して「社会のルールは博多青松のルール」、「博多青松の自由は、学びのための自由」などの博多青松アイデンティティの涵養を図る。 （２）「チーム博多青松」としての共通理解のもと、全生徒の指導・支援を全職員で行う。 （３）関係機関との連携、校内研修の充実を更に図り、組織的な修学支援を行う。	
	創立３０周年を機に本校の強みを再確認し、その強みを活かした教育活動を実践する。	（１）創立３０周年記念行事に向けた学校行事や「総合的な探究の時間」及び「博多青松グローバル人材委育成プログラム」の充実に努める。 （２）定時制、通信制それぞれの魅力や生徒の活躍について情報発信を行うため、学校ホームページ等の充実を図るなど積極的に広報活動を行う。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
教務課	レポート・スクーリングの充実	・授業規律を徹底し、生徒の授業満足度の向上を図る。 ・様々なメディアを用いた情報提供を行う方法を提案する。 ・観点別評価を取り入れた、生徒を取り残さない教育を目指した授業改善に取り組む。	「スクーリングの改善点アンケート」「レポート課題への満足度アンケート」	
	教務領域の共通理解と改善	・業務内容の精選を行い、作業の効率化を図る。 ・他部署との業務のシェアを図り、職員一丸となって取り組む。 ・校務支援システムのマニュアルの整備と効果的な利用の推進を図る。	「本校の教務領域業務に関するアンケート」	
情報システム課	校務パソコンの運用支援	・校務DX化担当主任と連携し、新規システムの研究を行う。 ・業務ごとのマニュアルを作成し、作業の効率化を図る。 ・校務支援システムの運用支援を行う。 ・HP更新システムの運用支援を行う。		
	校務ネットワーク及びICT機器の運用管理	・校務パソコン及び校務サーバの運用管理を円滑に行う。 ・ICT機器の管理と利用を支援する。		
生徒指導課	・生徒の学校生活に対する充実感、満足感の向上	・生徒の学校生活における充実感・満足感向上のために学校行事等を工夫・改善する。 ・学校生活アンケート等で、生徒の現状把握を行い、生活指導や行事運営及び環境改善に生かす。 ・生徒が安心して学習活動が行えるよう、SCやSSW等、関係機関との連携を深める。	「学校生活アンケート」	
	・生徒が安心して学校生活を送るための公共心やマナーの向上	・スクーリング中の校内及び学校周辺の巡視を計画的に実施する。 ・HRや学校行事、スクーリングを通して、マナー指導の徹底を図る。 ・「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見に努める。	「いじめ及び人間関係チェックリスト」	
健康教育課	生徒の心身の健康への支援	・教育相談希望者の調整を行う。 ・職員間や養護教諭、SC,SSWとで生徒情報を共有する。 ・生徒一人ひとりに適したサポートを行う。	「こころのアンケート」	
	避難訓練の円滑な実施	・校内での緊急避難時における生徒の行動を確認させる。 ・日常生活における緊急避難を生徒に意識させる。 ・緊急避難時における職員の動きをそれぞれで確認してもらう。		

学校運営計画（4月）

学校運営方針			評価（総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
昨年度は、学習評価の在り方について議論を重ね、出席の取扱の厳格化とあわせて観点別の学習状況の評価の徹底について共通理解を図ることを決定した。今年度は、引き続き各教科・科目の目指す生徒の資質・能力の育成を推進する。また、生徒の抱える多様かつ複雑な課題に対応するためにＳＣやＳＳＷ等の相談体制や合理的配慮体制を充実させ、適切かつ実効性のある支援を進めてきた。しかし、一方では転退学者数が増加の一途をたどっており、入学者が募集定員を満たさない状況も起こった。職員間の情報交換や研修、外部機関との連携に取り組みながら個別最適な修学指導を展開する。	学習活動及びキャリア教育を充実させ、生徒の個別最適な学びを実現する。	（１）生徒の多様な学びに対応できるような教職員の学習指導体制の充実を図る。 （２）ＩＣＴを活用する等、魅力ある授業を展開し、生徒の学力の更なる伸長を図る。 （３）キャリア教育の体制整備を図り、生徒が未来社会でたくましく生き抜く力を育成する。	
	生徒の多様化に対応した、積極的生徒指導と修学支援を充実させる。	（１）学校生活を通して「社会のルールは博多青松のルール」、「博多青松の自由は、学びのための自由」などの博多青松アイデンティティの涵養を図る。 （２）「チーム博多青松」としての共通理解のもと、全生徒の指導・支援を全職員で行う。 （３）関係機関との連携、校内研修の充実を更に図り、組織的な修学支援を行う。	
	創立３０周年を機に本校の強みを再確認し、その強みを活かした教育活動を実践する。	（１）創立３０周年記念行事に向けた学校行事や「総合的な探究の時間」及び「博多青松グローバル人材委育成プログラム」の充実に努める。 （２）定時制、通信制それぞれの魅力や生徒の活躍について情報発信を行うため、学校ホームページ等の充実を図るなど積極的に広報活動を行う。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
企画広報課	広報活動の充実	・学校ホームページの充実を図り、積極的に情報発信を行う。 ・各種学校説明会の機会に生徒の活動や活躍を視覚的に紹介する。 ・広報活動に関わる職員研修を行い、チーム支援を充実させる。	「学校説明会におけるアンケート」	
	広報素材の収集・精選	・ポスターやパンフレットなどの立案を迅速に行い、広報物の掲示を充実させる。 ・学校行事や生徒の活躍などの視覚的資料を広報素材として積極的に活用する。		
	円滑な学校行事の運営	・各分掌・年次との密接な連携により行事等を円滑に行う。 ・式典の実施要項を早期に提示し、業務の周知徹底を図る。 ・行事の活性化を図るため、詳細な記録を残す。		
	校報誌「青松」の有効活用	・生徒の感想を掲載するなど、生徒の活動が伝わる誌面を作る。 ・生徒の知見を広げるために幅広い内容の記事を掲載する。		
研修図書課	研修会の充実	・他分掌と連携し、年間4回以上の校内研修を実施する。 ・観点別評価により職員の「見えない学力」を育成する力を高める。 ・留意を要する生徒のに関する情報共有を全職員で行う。 ・人権教育基本方針を理解し、「チーム博多青松」で生徒の支援を行う。 ・若年研（研究授業・課題研究発表・報告など）を円滑に実施する。 ・通信制におけるICTの活用を模索する。	「レポート・スクーリング・テストに関するアンケート」 「学校生活アンケート」	
	・読書センターおよび学習センターとしての図書館の役割の定着	・広報誌や状況書添付物による図書館情報の周知を進める。 ・図書委員と連携を図る。生徒の意向が反映される選書を行う。 ・周年事業のために過去の情報を収集・整理する。	「図書館オリエンテーションでのアンケート」（定時制）	
	・スクーリングや行事などでギャラリー液晶画面等による情報提供	・予定変更などに迅速に対応する情報の提供に努める。 ・安心してみてもらえる映像表現の工夫につとめる。 ・他校広報誌を整理し、協力校制度の研究に資する。		

学校運営計画（4月）

学校運営方針			評価（総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
昨年度は、学習評価の在り方について議論を重ね、出席の取扱の厳格化とあわせて観点別の学習状況の評価の徹底について共通理解を図ることを決定した。今年度は、引き続き各教科・科目の目指す生徒の資質・能力の育成を推進する。また、生徒の抱える多様かつ複雑な課題に対応するためにＳＣやＳＳＷ等の相談体制や合理的配慮体制を充実させ、適切かつ実効性のある支援を進めてきた。しかし、一方では転退学者数が増加の一途をたどっており、入学者が募集定員を満たさない状況も起こった。職員間の情報交換や研修、外部機関との連携に取り組みながら個別最適な修学指導を展開する。	学習活動及びキャリア教育を充実させ、生徒の個別最適な学びを実現する。	（１）生徒の多様な学びに対応できるような教職員の学習指導体制の充実を図る。 （２）ＩＣＴを活用する等、魅力ある授業を展開し、生徒の学力の更なる伸長を図る。 （３）キャリア教育の体制整備を図り、生徒が未来社会でたくましく生き抜く力を育成する。	
	生徒の多様化に対応した、積極的生徒指導と修学支援を充実させる。	（１）学校生活を通して「社会のルールは博多青松のルール」、「博多青松の自由は、学びのための自由」などの博多青松アイデンティティの涵養を図る。 （２）「チーム博多青松」としての共通理解のもと、全生徒の指導・支援を全職員で行う。 （３）関係機関との連携、校内研修の充実を更に図り、組織的な修学支援を行う。	
	創立３０周年を機に本校の強みを再確認し、その強みを活かした教育活動を実践する。	（１）創立３０周年記念行事に向けた学校行事や「総合的な探究の時間」及び「博多青松グローバル人材委育成プログラム」の充実に努める。 （２）定時制、通信制それぞれの魅力や生徒の活躍について情報発信を行うため、学校ホームページ等の充実を図るなど積極的に広報活動を行う。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
ガイダンス課	生徒個々の希望進路実現に向けた支援体制の構築	・教職員へ適切に、かつ時機に応じて進路情報を提示する。 ・キャリア教育関連行事の内容を充実させる。 ・生徒の進路選択を支援するために、教員間の連携を強化する。	「進路希望調査」	
	生徒自身による進路選択に係る情報収集の支援	・あらゆる機会を利用して「進路の手引」を積極的に活用させる。 ・クラス、年次の枠を越えた個別相談体制を構築する。 ・「進路だより」の内容を充実させる。		
新入生年次	・通信制システムへの理解と満足度の向上	・通信制システムを早期に理解させ、円滑な単位修得を促す。 ・不活動状態につながる状況の早期発見に努める。 ・生徒間コミュニケーションを醸成し、学校生活への満足度を向上させる。	「学校生活に関するアンケート」／「レポート・スクーリング・テストに関するアンケート」／「進路希望調査」	
	・「チーム学校」として生徒の支援に努める	・生徒に関する情報収集、保護者、SC、SSWとの連携を努める。 ・年次内で生徒情報を迅速に共有する。 ・自己肯定感を持ち、自尊感情及び他尊感情を大切にできる生徒を育成する。	「生活アンケート」	
在校生年次	・生徒理解と適切な支援・指導を行う	・前年度からの引継ぎ事項を確認し、適宜生徒との面談を行う。 ・生徒情報を共有し、共通認識のもと生徒を指導する。 ・生徒の学習状況を把握し、きめ細やかなサポートを行う。	「レポート・スクーリング・テストに関するアンケート」 「生活アンケート」	
	・自尊心を高め、進路意識の醸成	・特別活動等への参加を通して、生徒の本校への帰属意識を高める。 ・幅広い進路希望の把握と面談等でのサポートを充実させる。 ・ガイダンス部と連携し、情報提供や相談により進路意識を醸成する。	「進路希望調査」	
卒業予定生年次	・主体的な進路形成と実現力の育成	・生徒情報の共有をもとに、チームでの支援・指導に努める。 ・面談等を通して目標設定を支援し、定期的に見直しを行う。 進路情報の提供を行い、具体的な行動に繋げる。	「レポート・スクーリング・テストに関するアンケート」 「生活アンケート」	
	・自己管理能力と社会性の育成	・出席・課題状況を把握し、卒業条件確認など早期対応を行う。 ・面接指導などを通して、挨拶や言葉遣いなど社会性を身につけさせる。 ・保護者ならびに医療機関、福祉機関との連携し、支援を行う。	「進路希望調査」 「生活アンケート」	